赤平市議会議員 手づくりの議会広報紙

あかびら市議会
かわら版
No.66

第４回定例会(12 月 13 日開会~12 月 16 日閉会)

- 令和４年度一般会計補正予算の審議
- 令和４年度各特別会計補正予算の審議
- 条例の制定と改正についての審議
- 一般質問　６名

ほか

審議	
議案	１３件
意見書案	２件
行政常任委員会に付託	
条例改正等	６件

（結果）

原案どおり可決

第３回臨時会（11 月 28 日）

- 専決処分についての審議
- 令和４年度一般会計補正予算の審議
- 令和４年度各特別会計補正予算の審議

審議	
議案	１２件

（結果）

原案どおり可決・承認

議場の様子

一刻者倶楽部

鈴木　明広

新型コロナワクチンの治験について

【質問】

厚労省HPの新型コロナワクチンQ&Aにおいて、ワクチンの臨床試験が終わっていないというのは本当か？という質問に対して「臨床試験（第三相試験）で有効性と安全性に関して厳格な評価が行われた後に承認されています。その上で、効果の持続等を確認するために、臨床試験の一部が継続されています。」と答えているが、臨床試験の一部がいつ終わるかという情報を当市が得ているか伺う。

【答弁】

臨床試験の終了時期については厚生労働省のホームページに記載されている以上のものは、当市でも情報を得ていない。厚生労働省では現在においても、「効果の持続等を確認するために、臨床試験の一部が継続されている」ということである。

【再質問】

従来株対応ワクチンBA・1は臨床試験、つまり人間で試験を行ったが、オミクロン株BA・4―5については、非臨床試験、つまり動物実験である。それで市民に対しての安全性や有効性は担保されるかを伺う。

【答弁】

厚生労働省の資料によると、「ヒトでの起源株とオミクロン株BA・4―5の2価ワクチンの臨床試験データは得られていないが、有効性について、マウスの非臨床試験において起源株とオミクロン株BA・4―5の2価ワクチンの変異株に対する免疫原性及び感染防御効果を評価した結果から、現在流行しているオミクロン株BA・5を含む変異株に対して幅広い予防効果が期待される。安全性に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。」ということである。

抗原原罪について

【質問】

新型コロナウイルスは頻繁に変異をする。抗原原罪により免疫応答が偏ってしまえばワクチンを接種すればするほど効果がなくなるのではないかと思うが、見解を伺う。

【答弁】

免疫学の専門家の中にはコロナワクチンについて、短期間に接種を繰り返すと、最初に打った時にできた抗体が次の抗体の生成を邪魔し、変異型に合わせたワクチンを接種しても免疫力がつかなくなるので、抗原原罪を危ぶむ声が出ている。厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会では、mRNAワクチンにおいては、その知見が十分ではなく、積極的に支持するような結果はないとされているので、今後の臨床試験等の結果も踏まえ、注視していく。

日本共産党

木村　恵

指定避難所について

【質問】

指定避難所についての不安の声が特に茂尻地区、豊里地区で多いと思う。避難所の収容人数や備蓄品の有無などの情報提供はされているか伺う。

【答弁】

避難所の収容人数は市民全体の20％を想定している。茂尻小・豊里小が減り、赤平小が新たに加わって赤平市全体の収容可能人数は2，633人の想定で総施設数は維持できていると考えている。備蓄品は約2千人の3日分と想定し、地域を分散して保管している。今後これらについて周知を図っていきたいと考えている。

【質問】

豊里地区については避難先が児童センターとなっており、備蓄品も心配される。旧豊里小が新しく収容人数の多い避難所を要望する声も聴く。高齢化で町内会館も維持していくのが難しい中で将来的に維持していけるかどうか考える必要があると思う。現時点で、避難経路の見直しや指定避難所の対象域の緩和をすることで、ある程度、地域住民の不安解消は図れるのではないかと思うが考えを伺う。

【答弁】

旧豊里小の活用や避難所の新築といった声が寄せられているが、将来的な人口なども考慮すると現段階で避難所に限った単独での施設整備は難しいと考えている。防災マップ上の避難経路は指摘のとおりであり、豊里地区のみでの解消だけでなく、コミセン別館や赤平小中学校などを含めた避難経路の対象区域の見直しを検討していきたい。

避難基準について

【質問】

避難基準の周知はいつ避難するかという点について大切だが、どこに、どのように避難するかという部分が現状の防災マップやホームページではわかりづらいと思う。「安全な場所にいる人が避難所に行く必要はない」「小中学校・公民館だけが避難先ではない」などを視覚的に訴えるためにイラスト付きで周知すべきと思うが考えを伺う。

【答弁】

消防庁のホームページではカラーでイラストを使ってわかりやすく掲載している。それらを参考に、今後わかりやすく伝えていきたい。

民主クラブ

若山　武信

市立病院における通常診療とコロナ診療の両立について

【質問】
第８波で感染者数が増えるとコロナ診療が優先となり通常診療が心配され、一般患者が入院拒否されるケースがすでに全国で発生している。今後の医療体制への考え方や対応について伺う。

【答弁】
発熱者外来では小児や大人の受付を時差及び時間限定としており、一般患者との接触回避、医師・医療スタッフを通常診療と両立させるためへの効果も得ている。入院においては、感染者対応のあるエリアを区分けし、一般の患者を安全な環境でできるだけ多く受け入れ可能となるよう体制を整えており、これまでも一般患者の入院拒否は発生していない。

防災行政無線機能の徹底について

【質問】
受信可能対象範囲なのに外では聞こえづらいとの苦情あり。機能が十分でないと防災時への支障が心配される。防災行政無線機能徹底への今後の取組について伺う。

【答弁】
災害発生時においては、状況に応じて放送を繰り返す等周知徹底を図り、行政無線のほかに広報車、町内会長への連絡、ＳＮＳを活用した発信など、複数の情報伝達手段を活用し発信する。

豊里地区における避難所の建築及び生活館併用について

【質問】
旧豊里小学校の避難所への改修は莫大な費用を要し、維持費もかかり難しいとのこと。それでは、過疎債が適用となる新たな避難所を建築するべきと思うが、伺う。

【答弁】
地震の震度を想定した被災者を収容する総施設数は現在維持できており、避難所に限った単独での新築について、現段階では難しい。

【再質問】
町内会館は現在５町内のうち４町内は建築40年以上を経ており、将来的にはこの避難所に５町内共用の生活館機能を併用させて使用する考えについて、伺う。

【答弁】
豊里地区町内会館の集約については、豊里地区皆さんの創意や運営維持管理は町内会で担うこと等を整理したうえで集会施設の建設となれば避難所としても指定していきたいと思う。集約した集会施設の地域協議が大切である。

新政クラブ

安藤　繁

人口減少問題について

【質問】
年々人口減少する中、移住定住について今後どの様に取り組んで行くのか、又、当市も深川市の様に移住定住に係るサポート担当部署を設置し専属職員を配置し効果を上げては如何か伺う。

【答弁】
現在、民間賃貸住宅家賃助成や高校生までの医療費無料化等を実施している。今後、効果の見込める移住交流イベント等の参加も検討する。又、専属職員の配置は難しく、移住定住サポートについては現状どおり企画課で行いながら、今後の体制についても検討する。

エルム高原施設について

【質問】
浴場の露天風呂等の施設改修やレストランの利用促進についてどの様に考えているのか。現在、封鎖しているレストランの玄関から直接入れるように出来ないか伺う。

【答弁】
露天風呂は十分な広さがなく利用者からも指摘を受けている。今後、改修する時にはお客に喜ばれる施設として検討する。レストランは、管理上の問題から入口を１か所にしているが、今後の改修計画の中で、どちらからでも入れるよう検討していく。

学校給食について

【質問】
給食の献立・栄養管理の計画作成や給食内容の確認及び改善はどの様に行っているのか、又、給食についての生徒のアンケート調査について伺う。

【答弁】
給食は、エネルギーや栄養素等の基準値を定めている「学校給食摂取基準」を踏まえて栄養教諭を中心に学級担任や「学校給食運営委員会」の意見も頂き運営を図っている。更に、アンケートは実施していないが、栄養教諭が食育指導の際に生徒から感想などを聞き献立等の参考にしており、例年同様に安全安心な給食の提供が出来ている。

【再質問】
今後、更に大幅な物価の高騰が進むと考えられるが、当市の給食費についての考えと、各地域の自治体では、学校給食の無償化が進んで来ているが、本市も無償化を検討しては如何か伺う。

【答弁】
「第２期赤平市子ども・子育て支援計画」の施策の一つとして物価高騰が継続しても、国の財源補填の有

無にかかわらず、値上げ回避は継続する。無償化について、現時点では具体的に示す事が出来ないが今後検討していく。

新政クラブ

北市　勲

公共施設の総合的な管理の推進について

【質問】

今春閉校となった旧3小学校の利活用の要請に対し3月では適切な情報提供し判断する。6月は「旧3小学校活用検討会議」を立ち上げ協議を開始した。9月では「民間活用案」を中心に協議するとの答弁でしたが、結論を出せないまま秋の住民懇談会で市民の意見を聞き説明をするとのことだが、どの様な意見があり、どの様な説明をされたのか伺う。

【答弁】

豊里地区では児童館や避難場所及び町内会館としての活用意見があり、茂尻地区では立地条件を活かし民間活用に取り組んで欲しいとの要望があり、説明として改修や運営維持費に多額の費用が必要になるので、活用の検討にあたり市民への情報提供の資料を作成中である。

旧3小学校活用検討会議の民間活用案について

【質問】

「旧3小学校活用検討会議」で議論されている「民間活用案」の有効有益な活用案とはどの様な案なのか伺う。

【答弁】

旧茂尻小と豊里小については都市計画に制限があり教育施設として売却の案や複数町内会が共同活用し避難場所や選挙会場にする活用案である。

【再質問】

「旧3小学校」の利活用の結論は出さなければなりません。協働と協創でまちづくりを目指すのであれば市民に丁寧に説明をするべきでないか

【答弁】

住民懇談会の意見を踏まえ市民説明の場を設ける。

公共交通の推進について

【質問】

中空知地域公共交通活性化協議会において「市民の足」として重要視している中央バス「滝芦線」「歌志内線」の運行及び支援等に関わる協議の進捗状況について伺う。

【答弁】

当該路線への支援として赤字補填の要請があり、赤平市としては路線維持のためには一定程度の負担もやむを得ない、利便性低下を防ぐためにもこれ以上の減便は避けたいという旨の意見は伝えており、負担となった場合は近隣市町と負担按分について検討される予定である。

【再質問】

「滝芦線」「歌志内線」の赤字補填に対する支援のタイムリミットは何時なのか伺う。

【答弁】

春のダイヤ改正に向けての支援の意向は年明けの2月までに伝えなければならない。

民主クラブ

伊藤新一

選挙公約の達成度について

【質問】

畠山市政1期目の任期も半年を切り、ご自身が掲げられた選挙公約の達成度についてどのように思われるか伺う。

【答弁】

私が市民の皆様にお約束した公約は「政策決定プロセスの確立」であり「市民アンケートの実施」「事業の決定過程の透明化」の大きく2点であり、「市民アンケート」については毎年実施し、重要度、満足度、改善度の過去の調査との比較も行い、市民の皆様へ説明してきた。「事業の決定過程の透明化」については「旧3小学校活用検討会議」を立ち上げ検討している。また、「赤平市個別施設計画」で活用方策について協議、検討している。以上のようなことから、総合的に考えると「達成」という表現は出来ないが、「一定の成果」はあったものと考えている。

市長一期目の自己評価について

【質問】

当選以来、財政の健全化を維持しつつ赤平市総合計画、総合戦略をもとに政策を推進してこられ、コロナ対策についての苦労も計り知れないものがあったと推察されるが、これまでの成果と自己評価について伺う。

【答弁】

コロナ禍の中小企業支援として6回の財政的支援を行い、市民の皆様へ「たすけ愛商品券」を4回交付した。私道除雪については22路線、100世帯の生活道路の除雪を実施している。その他に「高齢者補聴器購入費用助成制度の新設」「高校通学費等助成制度の拡充」「あんしん住宅助成事業の拡充」等、新たな施策やこれまでの施策の拡充に取り組んでおり、十分な成果という表現についてはなかなか難しいが、住民福祉の向上という部分では、一定の成果につながったのではないかと考えている。

主なるご意見	
11月15日　市役所3階議事堂	11月17日　東公民館1階講堂
● 議会基本条例についての赤平市議会の取組み方について	●次期市長選への出馬の意向について 【質問】 コロナ禍への対応をはじめ講堂今後も市政を取り巻く環境は厳しいものがあると思いますが、つぎの2期目の市長選挙へ出馬の意向を伺う。 【答弁】 現在の調査会役員就任の話はありません。
● 現行の１０名の議員定数について	●学校的根拠に基づき「暮らしに身近な政策を優先する」という私の考えの市民の皆様から幅広く支持をいただいた。これからも市民の声を聞くよう努めるとともに、市職員さんとも一緒に、地域の課題を解決し、市政の執行に揺るぎない決意で取り組んでまいりたい。
● ２０１９年の市議会議員選挙時における各議員の公約の達成度と評価について	

議会報告会と意見交換会

11月15日　市役所３階議事堂

11月17日　東公民館１階講堂

◎議会改革の一環として議場開放を行いました。

令和4年10月27日に赤平小学校3年生43人が市議会議場で学習発表会を行いました。「赤平の魅力探検隊」が6グループに分かれ、「火まつり」「ズリ山」等をテーマとした調査結果をもとに、議員や市職員ら約70名にまちづくりの提言をしました。

議会の動き

１１／　１　全国自治体病院経営都市議会協議会第１６回医療政策セミナー（東京都）
１１／　７　行政常任委員会
・あかびら市立病院の経営状況(4・5・6・7・8・9月分)について
・教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について
・一般廃棄物の受入に関する歌志内市との協議経過について
・赤平市保養センター外３施設の指定管理について
・社会教育施設における飲酒制限の解除について
１１／　８　中空知広域市町村圏組合例月出納検査（滝川市）
１１／１５　議会報告と意見交換会（議場）
１１／１７　議会報告と意見交換会（東公民館）
１１／２２　議会運営委員会
１１／２４　全国市議会議長会第１６３回地方行政委員会（東京都）
１１／２５　中空知衛生施設組合議会第２回定例会（滝川市）
１１／２８　赤平市議会第３回臨時会
１１／２９　空知教育センター組合議会第２回定例会（滝川市）
１１／２９　中・北空知廃棄物処理広域連合議会第２回定例会（滝川市）
１１／２９　中空知広域市町村圏組合議会第２回定例会（滝川市）
１１／２９　石狩川流域下水道組合議会第２回定例会（滝川市）
１１／３０　滝川地区広域消防事務組合議会第２回定例会（滝川市）
１２／　８　議会運営委員会
１２／１３　第４回定例会（１６日まで）
１２／１４　行政常任委員会
・赤平市条例の読点の表記を改める条例の制定について
・赤平市職員の定年等に関する条例の一部改正について
・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
・赤平市市営住宅条例の一部改正について
・滝川地区広域消防事務組合規約の一部改正について
・公の施設の指定管理者の指定について(赤平市保養センター外３施設)

◎意見書の送付について
次の２件の意見書を可決し、送付しました。
〇国の支援を強め，必要な介護を受けられるように制度の改善を求める意見書
〇森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書
送付先：衆議院議長　参議院議長　内閣総理大臣　総務大臣　財務大臣　厚生労働大臣
国土交通大臣　環境大臣　文部科学大臣　農林水産大臣　経済産業大臣　復興大臣

※詳しい議決結果及び賛否の公表については、赤平市議会ホームページに掲載しています。

編集後記

昨年末に経済週刊誌「エコノミスト」が今年度の「日本経済総予測」の特集記事を組んだ。その中で令和5年中に「起きる可能性の高いこと」について10項目のアンケートを企業系と金融機関系のシンクタンクに行った。

その質問の中で、私は「電車やオフィスでマスクを着用しない人がする人を上回るか」に刮目した。アンケートに回答した27社中20社が、「あり得る」と回答した。マスクが外れることは、市民がコロナ禍以前の経済・教育・文化活動等に「回帰」するために意義深く肯定的な影響を与える要素であることは論を俟たない。とりわけ子どもの発達について、マスク社会は「表情が読めないと脳と心が育たない。」ことを懸念する脳科学者がいる。今後の動向を注視したい。　鈴木　明広

かわら版編集委員会
委員長　鈴木　明広
安藤　繁
東　成一
木村　恵
五十嵐美知

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会 TEL32-1858 までお願いいたします。